

R8 第1学年 国語

1 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 評価の観点と内容

評価項目	知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価方法	授業への取り組み、作文・レポート・鑑賞文等の作品、定期テスト、単元テスト、小テスト(漢字・文法)	

3 学習の手引き

使用教材	教科書:国語・書写(光村図書) 副教材:国語の学習、漢字の学習、学習の達成
学校では…	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業の準備をしっかりとしましょう。(忘れ物がないように。) ② 仲間の意見をよく聞き、新しい気づきがあったり、考えが深まる1時間にしましょう。 ③ ノートは「授業内容」だけでなく、「予習・復習」でも活用しましょう。ノートは必ず、縦書きにしましょう。 ④ 漢字テストは1週間に1回行います。出題範囲の漢字をしっかりと確認しておきましょう。 ⑤ 単元テストや定期テストにあわせて、ワークなどを用いて学びの調整を行いましょ。
家庭では…	<ol style="list-style-type: none"> ① 語句・意味調べ、漢字の読み書き、本読みなどを行いましょ。 ② ワークやスタディサプリなどを活用し、教材の理解を進めましょ。

4 年間計画

月	教材名	目標・評価の観点など
4月	朝のリレー	【知・技】声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
4月	野原はうたう	【知・技】聞き手を意識して声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の大きさや高さを工夫している。情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
4月	はじまりの風	・場面ごとの心情の変化を、図を用いて整理する。 ・場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化をとらえる。 【知・技】図などを使って、心情の変化を整理している。 【思・判・表】場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。 【態】場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。
5月	【聞く】 情報を聞き取り、要点を伝える	【知・技】5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。 【思・判・表】日常の話題について、聞き取った情報を整理し、伝える内容を考えている。 【態】聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。
5月	言葉1 音声の仕組みや働き	【知・技】日本語の音声は母音と子音で構成されることや、アクセント・イントネーションによって意味や調子が変わることなどを理解している。 【態】声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。
5月	話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする	【知・技】声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 【思・判・表】聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。聞き手の反応を見ながら、伝えたいことがわかりやすく伝わるように表現を工夫して話している。 【態】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチしようとしている。
5月	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	【知・技】漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5月	ダイコンは大きな根?	・比較がどんな場面ですでに使われるかを確認しよう。・段落の役割に着目して、文章の内容をとらえる。 【知・技】本文中で比較がどのように使われているかを理解している。 【思・判・表】「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。 【態】文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。
5月	ちょっと立ち止まって	・筆者の主張と事例との関係を整理する。 ・文章の構成に着目し、要旨をとらえる。 【知・技】筆者の主張と事例との関係を整理している。 【思・判・表】序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。 【態】進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
6月	情報整理のレッスン 比較・分類	【知・技】情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。 【態】情報の整理のしかたについて積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。
6月	情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	【知・技】集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。 【思・判・表】目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明に必要な情報を取捨選択している。わかりやすく説明するために、まとめ方や順序を工夫している。 【態】集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。
6月	言葉2 指示する語句と接続する語句	【知・技】例を基に、指示する語句と接続する語句の種類や働き、使われ方などについて理解している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
6月	空の詩 三編 【書く】詩の創作教室	・詩の言葉を読み味わい、語感をみがく。 ・詩の情景を想像し、表現の効果について考える。 【知・技】詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。 【思・判・表】詩に描かれている情景を想像し、具体的な叙述を取り上げて表現の効果を考えている。自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。読み手の助言から、創作した詩のよい点や改善点を理解している。 【態】詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
6月	言葉3 さまざまな表現技法	【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、具体的な言葉を挙げて指摘している。 【態】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。
6月	比喩で広がる言葉の世界	・比喩について理解し、生活への活かし方を考える。 ・文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉える。 【知・技】文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。 【思・判・表】各段落の役割を理解し、文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉えている。 【態】進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。

7月	文法への扉1 言葉の まとまりを考えよう 文法1 言葉の単位	【知・技】文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
9月	大人になれなかった 弟たちに……	・本や資料を読み、登場人物が置かれた状況を知る。 ・登場人物の行動や風景の描写を基に、心情を捉える。 【知・技】戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解するうえで、読書が役立つことを理解している。 【思・判・表】描写に着目して、登場人物の行動の理由や心情の変化を捉えている。 【態】登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。
9月	星の花が降るころに	・場面や描写の結びつきを、図などを用いて整理する。 ・場面と場面、場面と描写を結び付けて、作品を解釈する。 【知・技】場面や描写の結びつきを、図などを用いて整理・比較している。 【思・判・表】場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 【態】進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
9月	項目を立てて書こう 案内文を書く	【知・技】情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。 【思・判・表】伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理している。相手が必要とする情報を明確に伝えるために、案内文の構成を考えている。 【態】必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
9月	言葉4 方言と共通語	【知・技】共通語と方言の役割や特徴について理解している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
10月	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	【知・技】話す速度や声の大きさ、言葉の調子や間の取り方などに注意しながら話している。 【思・判・表】話し手の話に耳を傾け、質問のしかたを工夫しながら対話をし、話を十分に引き出している。 【態】進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。
10月	漢字2 漢字の音訓 漢字に親しもう	【知・技】漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10月	「言葉」をもつ鳥、ジジュウカラ	・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。 ・文章の理解や展開の効果について、根拠を明確にして考える。 【知・技】筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解している。 【思・判・表】文章の構成や展開の効果について、根拠となる段落や部分を挙げて考えを書いている。 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
10月	根拠を明確にして書 こう 資料を引用して 報告する。	【知・技】情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。 【思・判・表】集めた資料やデータを根拠として明確に示しながら、自分の考えを書いている。読み手の助言を基に、引用のしかたや根拠の明確さなどについて、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 【態】根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
11月	漢字に親しもう3	【知・技】小学校で学習した漢字を使って文章を作ったり、中学校で学習する漢字の読み方について理解したりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
11月	文法への扉2 言葉の 関係を考えよう 文法2 文の組み立て	【知・技】「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」について、理解を深めている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
11月	大阿蘇	【知・技】詩の朗読を聞いて、それぞれの言葉がどのように使われているかを考えている。 【態】進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。
11月	古典の世界 いろは歌	【知・技】小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 【態】古文を積極的に、繰り返し音読し、3年間の学習の見通しをもって、古典の世界に親しもうとしている。
11月	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	【知・技】音読に必要な文語のきまりや、古典特有のリズムを確かめながら音読し、古典の世界に親しんでいる。 【思・判・表】文章を読み、登場人物の思いや行動、現代との共通点や相違点について考えを深めている。 【態】進んで古文を音読し、今までの学習を生かして、描かれている古典の世界を想像しようとしている。
11月	今に生きる言葉 【書く】故事成語を使 って体験文を書こう	【知・技】訓読のしかたや漢文特有のリズムを確かめながら音読し、古典の世界に親しんでいる。 【思・判・表】本文を読んで故事成語について理解したことに基づいて、自分の体験と故事成語を結び付けて考え、短い文章を書いている。故事成語と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。 【態】積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
11月	「不便」の価値を見つ め直す 【書く】筆者の主張に 対する自分の意見を書 こう	【知・技】自分の意見を述べるときには、根拠が必要であることを理解している。情報の整理のしかたを理解し、必要な情報を選び、結び付けて、本文を要約している。 【思・判・表】目的に応じて必要な情報に着目し、要約している。文章を読んで理解したことに基づいて、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見を書いている。 【態】必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。

12月	漢字に親しもう4	【知・技】小学校で学習した漢字を使って文章を作ったり、中学校で学習する漢字の読み方について理解したりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
12月	話題や展開を捉えて話し合おう	【知・技】自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。 【思・判・表】話し合いの話題や展開に沿って、互いの発言を結び付けながら話したり、自分の考えをまとめたりしている。 【態】積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。
1月	少年の日の思い出 [書<]別の人物の視点から文章を書き換えよう	【知・技】行動描写や情景描写、心情を表す言葉に着目している。 【思・判・表】時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。登場人物のものの見方について、自分の考えをもっている。読み深めたことを基に、別の人物の視点から出来事や心情を捉え直して、作品を書き換えている。 【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
	漢字に親しもう5	【知・技】小学校で学習した漢字を使って文章を作ったり、中学校で学習する漢字の読み方について理解したりしている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
1月	文法への扉3 単語の性質を見つけよう 文法3 単語の分類	【知・技】「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
1月	二十歳になった日	【知・技】心情を表す語句や表現に着目し、感じたことを言語化している。 【思・判・表】本文中の具体的な記述を挙げながら、構成の工夫や表現の効果について考えている。 【態】進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。
2月	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	【知・技】体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。 【思・判・表】読み手が状況をイメージできるよう、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。体験に基づいて自分の考えを伝えるために、書きだしや結び、描写を工夫している。 【態】粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
2月	漢字3 漢字の成り立ち	【知・技】漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字の成り立ちについて理解しようとしている。
3月	ぼくが ここに	【知・技】詩に用いられている表現の技法を理解している。 【思・判・表】表現や表現技法に着目して読み深めたことを基に、作者の思いを想像し、考えている。 【態】積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。

*書写は以下の内容を取り扱います。(硬筆・毛筆)

7月 12月	漢字を分解してみよう 漢字の筆使い 楷書に調和する仮名(いろは歌) 文字の大きさと配列(俳句) 行書の特徴 行書スイッチを入れよう 点画の変化 点画の連続
-----------	--